

学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル

令和2年6月3日（水）

朝霞市立朝霞第十小学校

感染症対策のため、今後の子供たちの学校生活についてルールを作成しました。学校で行うこと、家庭に御協力いただきたいことが書かれております。よくお読みいただき、御協力をよろしく願いいたします。

校内で指導していくこと	
手洗いの徹底	○①外から中に入る時、②咳やくしゃみ、③鼻をかんだ時、④給食前後、⑤掃除前後、⑥トイレ使用后、⑦共有物に触れる前後、⑧移動教室の前後など、特に 咳、くしゃみ、鼻をかむなどの行動やいろいろな箇所に手で触れるなどした時に 、手洗いをするように声掛けを行います。手を洗ったら、 自分で持ってきたきれいなハンカチでふきとらせます。
咳エチケット	○マスク、ハンカチ、洋服の袖など、直接肌に触れないところで咳を受けるように指導します。また、咳が出るときに、口を塞がなかったり、手で覆ったりしないように指導します。手で覆ったときには手洗いの指示を出します。
マスク	○基本的には常時マスクで生活します。 発表の場面でも、マスクを着けたまま発表する ようにさせます。ただし、気候の状況等により、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すこともあります。その際は、換気を十分行うことや児童の間に十分な距離を保つようにします。 ○マスクを外す際には、ゴムやひもをつまんで外し、手指にウイルス等が付着しないよう、なるべくマスクの表面には触れず、内側を折りたたむようにします。 ○給食や体育時にマスクを外して活動する場面などでは、 マスクはクリアファイルやクリアケースや市販のマスク用の保管箱などを各家庭に準備 してもらい、それに入れて 机の中で保管 します。 ○登校時、マスクを忘れた児童がいた場合は、 教室へ行かずに、職員室で対応 します。
換気	○可能な限り2方向の窓を同時に開け、常時換気を行います。 ○エアコンを使用している場合も同様に、換気を行います。

児童の心のケアのために
『 笑顔で接する 』ことが、自分は受け入れてもらっていると安心感を与えます。
『 話をよく聞く 』ことで、自分に関心を向けてくれている、共感してもらえるということが伝わります。
『 一人一人を認める 』ことで、子供たちは見てくれている、大事にされていると感じ、自己存在感が高まり、居場所づくりにつながります。
『 学習や生活のルールを定着させる 』ことで、集団の秩序を保ち、授業の充実を図ります。また、発達段階や個人差を考慮した上で、指導方法を工夫していきます。
『 子供たち同士の共感的な人間関係を育む 』ことで、子供同士が協力したり、間違えても大丈夫という認め合うことのできる環境をつくったりする等、子供たち同士の絆づくりにつながっていきます。

当面の間の1日の生活の流れについて【地域の感染レベルに応じて再検討していきます。】

<p>登校前 家庭に御協力を お願い すること</p>	<p>○十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事を心がけ、体調の管理に努め、抵抗力を高めるようにしてください。</p> <p>○清潔なハンカチ、ティッシュ、マスク、マスク保管用の清潔なクリアファイル等を毎日持たせてください。</p> <p>○必ず毎朝検温をし、健康状態とともにチェックシートに記入してから登校させるようにしてください。</p> <p>○児童の健康状態をよく確認し、体調が悪い場合は積極的に療養させてください。</p> <p>○学校内で水道に集まらないように、なるべく水筒を持たせてください。その際は、ペットボトルのまま持たせず、移し替えて持たせるようにしてください。</p> <p>○欠席される際は、連絡帳ではなく、電話での連絡をお願いします。当日の朝8時～8時20分までに御連絡いただけますと幸いです。</p> <p>○欠席時は同居家族の状況等も、併せて確認させていただくことがあります。</p>
<p>登下校について</p>	<p>○集団登下校を行う場合には、密接とならないよう指導します。</p> <p>○昇降口の出入口を学年ごとに分け、密にならないようにします。</p> <p>○今後、児童の登校する門を分け、密を作らない取組を行います。(6/15～)</p>
<p>教室・机登校後について</p>	<p>○教室は壁を取り払いオープンにし、できる限り離れるように机の配置を行います。</p> <p>○チェックシートを提出し、「検温」「体調」の確認を行います。朝の時点でチェックシートの提出がなかったり、未記入があったりしたときは、教職員が一人一人検温、風邪症状を確認します。</p>
<p>朝の会 帰りの会</p>	<p>○歌唱は行わず、スピーチなどに関しても、マスクを外さないで行うなどの対応をします。</p>
<p>休み時間</p>	<p>○外遊びができる学年を制限するなど、密にならないルールを設定していきます。</p> <p>○トイレや水道が混雑しないように間隔をあけて待つように指導します。</p> <p>○次の学習の前に、手洗いうがいをするように指導します。</p>
<p>給食</p>	<p>○主食のみの期間(8日～19日)は、教師がマスク・フェイスガード・ビニル手袋をして配膳したご飯・パン類、牛乳、ストローを配膳台に置き、児童が自分でお盆の上にとる形で行います。</p> <p>○密にならないように、班ごとや号車ごとなど人数を分けて準備を行います。</p> <p>○おかわりはせず、担当がよそって配りきるようにします。</p> <p>○おかずの持参については、御家庭の判断で行うようにお願いします。</p>
<p>清掃</p>	<p>○簡易的な清掃を、換気の良い状況でマスクをして行わせます。</p> <p>○清掃が終わったら、必ず石鹸を使用して手洗いを行わせます。</p>
<p>その他の対応</p>	<p>○風邪症状があったり、熱が高かったりした児童に関しては、保護者の迎えが来るまでの間、他の児童と接触しないように会議室で待ちます。</p> <p>○児童下校後に、教室、水道、トイレ、階段の手すり、その日に児童が使用した共有物などを、毎日教員が消毒を行います。</p> <p>○個人の教材教具を使い、道具の貸し借りはしないように指導します。</p>

当面の間の学習について【地域の感染レベルに応じて再検討していきます。】

授業の ルール 共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ペアやグループでの学習は極力控え、基本は座席で学習を行います。 ○個人の教材教具を使い、貸し借りはしないように指導します。 ○音読や発表の際もマスクをしたまま行います。 ○教室移動や保健の健診等の際は、なるべく距離をとるように指導します。 ○共有するものを使用する際は、前後で手洗いをするように指導します。 ○実施できない実験や観察、社会科見学等は、映像資料等を使用して行います。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○実験や観察は近距離にならないように工夫して行い、前後で手を洗うようにします。 ○理科室では、必要に応じて机の真ん中にビニルを張り、飛沫が飛ばないような工夫をします。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○中・高学年は当面の間、音楽室は使用せず、体育館にて行います。 ○低学年は第二音楽室を使用します。鍵盤ハーモニカを使用した演奏は行わず、なるべく広がって行います。 ○児童が共有の楽器に触れる際は、ビニル手袋を着用するなどの対応をします。 ○歌唱やリコーダー等の学習については、地域の感染レベルに応じて指導を再開していきます。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ○図工室を使った活動は行わず、教室で行うことのできる活動を行います。 ○学校の道具を使用する場合は、使用前後に手洗いと消毒を行います。 ○共同制作等については、地域の感染レベルに応じて行います。
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> ○調理実習は行いません。 ○裁縫に関しては手縫いのみ、自分の道具を使用して行います。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○密集する運動、近距離で組み合ったり接触したりする運動は行いません。 ○体育の授業を実施するにあたり、密を防ぐために体育館は使用せず校庭で行います。 ○同じ時間に体育の授業を行うクラスは2クラスまでとします。 ○長い休校明けとなり、運動不足も考えられますので、準備運動をしっかり行います。 また、熱中症も考えられますので、水筒を持っていき、休憩を入れながら行います。 ○校庭に、準備運動等の児童の立ち位置を指定するペグを2m間隔で打ちます。 ○短距離走を行う場合は10mの間隔をあけるようにします。また、時間の間隔をあけ、前方に人がいないタイミングで走るようにします。 ○ソーシャルディスタンスを徹底すること、時期として熱中症も考えられることから、体育学習時はマスクの着用はせずに行います。 ○水泳は行いません。
総合 パソコン	<ul style="list-style-type: none"> ○パソコン室を使う人数を、クラスの半分程度にして使用します。 ○正面に座らないように注意し、ジグザグに座るようにします。
外国語科 外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ○大きな声で一斉に発音することは避ける。 ○ペアで向かい合っただのトークなども控える。 ○ハイタッチ、握手など体に触れる活動は行わない。